

# 稲毛連覇・尾崎頂点へ

インカレロング大会 2013年10月13日 静岡県富士宮市

木村佳司

稲毛日菜子が昨年に続きインカレロング女子優勝、尾崎弘和が念願の男子優勝を飾った。ともに圧勝だった。

2013年10月13日(日) 静岡県富士宮市  
日本学生オリエンテーリング選手権大会  
ロング・ディスタンス競技部門

## 女子学生選手権結果 7.2km ↑120m

1	稲毛日菜子	0:58:37	お茶の水 3
2	高橋美誉	1:07:39	岩手 4
3	大河内恵美	1:17:26	横浜市立 4
4	横山理恵	1:18:03	金沢 4
5	伊東瑠実子	1:19:40	東京 2
6	守屋舞香	1:25:03	梶山 2



フィニッシュに飛び込む稲毛日菜子  
インカレロング連覇、2013年3月のイン  
カレミドルと併せて3個目のインカレ金メ  
ダルだ。

## 男子学生選手権結果 11.4km ↑195m

1	尾崎弘和	1:18:17	早稲田 3
2	菅野敬雅	1:22:06	東北 4
3	真保陽一	1:22:52	東京 4
4	杉村俊輔	1:24:26	東北 3
5	深田 恒	1:24:37	東京 2
6	福井悠太	1:25:15	東京 2



インカレ初優勝に向けて走る尾崎弘和  
1年前のインカレロングでは9秒差の3位、  
半年前のインカレミドルでは4位となつた  
悔しさを跳ね返す快走を見せた。

## 全身全霊をかけた熱戦

ロング競技のインカレが晴れの富士  
山麓で開催された。申し分のないテレ  
インとコース。申し分のない天気。選  
手は自身の競技のことだけを考え、た  
だひたすら結果を求めた。会場に母校  
選手が現れるたびに大声援が飛び交う。  
素晴らしいインカレだった。

昨年のインカレロング大会は東日本  
大会併設で神奈川県内開催が予定され  
ていた。だが東日本大会が大会2週間  
前に急遽中止となったことで、インカ  
レロング競技はテレインを急遽富士山  
麓に変更、主催者側もドタバタのうち  
に何とか競技が開催されたという経緯  
があった。

昨年のような開催では参加選手も、  
トレーニングや競技に集中できないだ  
ろう。だが今年は違う。安心して競技  
に集中できる大会となったのだ。



学生の熱戦に応援が飛び

## 新世代のインカレロング

従来の大会運営は地域クラブや有志  
が実行委員会を組織して行うのが主流  
だ。だがこの手法では広範囲にわたっ  
て高精度地図を作ることは難しくなっ  
ている。その証拠に、現在の日本のオ  
リエンテーリングシーンにおいてロン  
グディスタンス競技はほぼ壊滅し、そ  
の地位は今やロゲイニングに奪われつ  
つある。

今回、このインカレロング大会は  
NishiPRO こと西村徳真氏により推進さ  
れた。西村氏は数少ないプロマッパ  
ーの一人だ。彼の手により富士山麓に  
素晴らしい地図がリメイクされた。

こうしたプロ主導のインカレロング  
は過去にも開催されているが、今回  
の大会では推進するプロの世代が大き  
く若返った。これにより地図作成の機  
動力が向上したようだ。

こうして、高精度の地図がまたどん  
どん作られるようになれば、ロングデ  
ィスタンス競技がもう一度盛んになる  
日は案外と近いのかもしれない。

(木村佳司)